

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## 旅立ち

新田 松澤 毅

最初に、このたびの東日本大震災及び北部地震で被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げると共に、一日も早い皆様のご復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、我が家もこの春より2人の子供たちが、新たな目標を持って旅立ちました。長男は京都へ、そして次男は北海道へ、共に種目は違いますが、この白馬の地でスキーを続け、各自自分でその先の選択をしました。本当に各学校の先生をはじめ、各コーチの方々には大変お世話になりました。どこに行ったとしても、この白馬で育った事に誇りを持ち前向きに明るく生きてほしいものです。感謝の気持ちと新たな出会いを大切に絶対に諦めない強い意志を持って挑戦し続けることを期待します。スキーをはじめとする白馬を取り巻く環境は時代の流れと共に以前と比べ変わりました。厳しい状況ではありますが、伝統を守りつつも前を向いて立ち止まることなく進んでもらいたいものです。



## 大震災に思う

みそら野 熊捕保男

東京から白馬に移住して早くも25年が経ち、この間、大きな病気もせず、白馬の四季を楽しみ、元気に過して来ました。

この度の、東北関東大震災で、多数の死者、行方不明の方が犠牲になり、家族もバラバラになり、大変な生活をしなければならぬなど、心痛む思いです。

これに関連して、みそら野区の方々は、ほとんど、他の都道府県から移り住んで来た人達で、白馬村の文化、行事等に歴史が浅くまた、コミュニケーションも充分とはいえません、高齢者となれば、なおさらです。

自分達の非常時連絡先を、近所の人に教えておく事の大切さを感じました。

福島原子力発電所の事故では、目に見えない恐怖があり、今迄不自由なく、電気、水は、あってあたりまえの生活を見なおす時期なのかも知れません。



## 白馬ロータリークラブと 高校生交換留学制度について

飯森 宮尾英明

東日本・長野県北部大震災、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。

白馬ロータリークラブは、世界各地のこのような災害などへの援助等の活動や、身近な地元の高校生を対象とした青少年交換留学制度の活動を行っており、白馬高校の協力の下、8月から白馬高校生2名をアメリカとドイツへ送り出す予定です。またドイツの学生が白馬村へ交換留学生としてまいります。

この活動は、単に語学を学びに行くためではなく、ホームステイを経験し、異文化を体験し、自分の肌でその違いを感じることで、自国(特に白馬・小谷村)の文化や歴史を紹介し知ってもらうという重要な活動であります。今年は、ドイツの若者がこの白馬に交換留学生として来日されます。ホームステイ先(期間は2~4ヶ月)として協力できる方を募集しております。

### 【問合せ先】

白馬ロータリークラブ 72-4070  
白馬高校 72-2034  
白馬ロータリークラブ 宮尾 英明

## 編集後記

謹んで東日本大震災及び、県北部地震災害の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震・津波被害、福島原発事故と続き、被災地の復興には時間と莫大な資金、何よりも地元の人々の苦勞・苦痛を伴うことでしょう。

白馬でも、大会・各行事がキャンセルになりスキー客が激減、観光産業に大きな被害をこうむっています。

皆さんの力を結集してこの苦しい大変な難局を乗り越えられるよう頑張らしましょう。

がんばろう！日本  
がんばろう！白馬

大谷 正治



### 議会調査編集特別委員会 (平成23年5月6日現在)

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	太田 伸子
委員	横田 孝穂
委員	太田 修
委員	小林 英雄
委員	太谷 正治